

## 平成 30 年度第 1 回医療安全外部監査委員会 結果概要

日 時：平成 30 年 7 月 9 日(月)10：00～12：00

場 所：国立研究開発法人国立がん研究センター管理棟 特別会議室

出席者：

外部監査委員：国立研究開発法人国際医療研究センター 大西 真 病院長

さわやか法律事務所 田島 優子 弁護士

NPO 法人パンキャンジャパン 眞島 喜幸 理事長

国立がん研究センター 荒井 保明 理事長特任補佐

国立がん研究センター 廣田 正実 統括事務部長

病院開設者：国立がん研究センター 中釜 齋 理事長

病院側対応者：西田俊朗病院長、片井均医療安全担当副院長、岩田敏感染制御室長、

久々湊由佳子院内感染管理者、室谷美々子認定感染管理看護師、

宮北康二副医療安全管理室長、山口正和薬剤部長、関口昌利医療安全担当副薬剤部長、

麻生智彦放射線技術部長、井原完有放射線技術室長、石原敏弘副診断技術室長、

川村公彦臨床検査技師長、内川正弘副臨床検査技師長、宮越基副臨床検査技師長、

入江景子主任臨床工学技士、土師菜緒子医療安全管理者、

依田明久患者医療対話推進室長、杉本麻紀患者医療対話推進者、

藤野弥生医療安全担当副看護師長、遠藤文香医療安全担当看護師、

田宮瑤子医療安全担当看護師、山田諭史医療安全担当診療情報管理士

### 1. 議 事

#### 1) 医療安全管理について (資料)

- ・ インシデント/アクシデント有害事象報告の推移
- ・ 医療安全に関する研修開催状況
- ・ 医療安全対策推進のための方策と評価
- ・ 医療安全管理に係る他施設との連携
- ・ 医療安全管理室、医療安全管理部会ラウンド報告
- ・ 事故調査委員会の開催状況と事案紹介
- ・ 平成 29 年度総括及び今年度の課題と問題

#### \* 外部委員意見

⇒食事や薬剤、造影剤等アレルギー情報確認不足による事例は、大変危険であるため重篤な症状につながらないように取り組んでいただきたい。

⇒医療安全に関するオリエンテーションは、中途採用者が仕事に従事する前に実施できるような工夫をしていただきたい。また、医療安全講演会等は、外部の人も参加できることや e-ラーニングで受講する等工夫するとよい。

⇒説明・同意時は、職員を守るためにも、患者・家族がいかに理解しているかカルテに記載しておくべきである。また、説明・同意文書は、きちんと検証しておくことが重要なので、システムは使いやすいように改修すべきである。

⇒転倒については、患者状態は刻々と変わるため、その都度アセスメントが必要である。また、転倒ハイリスク患者がわかるような印があれば、現場でより気を付けられる。

⇒輸血後感染症の把握については、病院機能評価でも指摘されている。万一の場合に備えた対策が必要である。

⇒医療事故等防止対策委員会の出席については、代理出席が続かないようにする。

⇒画像診断レポートについて見落としが社会問題となっているが、主治医、医療安全管理部門の確認以外に第三者（診療情報管理室等）による検証についても検討して欲しい。重要な事項であるため少しずつ病院全体として画像確認、レポート確認の質を上げていく取り組みが必要である。

⇒患者対応については、反省すべきところはすべきだが、がんセンターの医療安全の判断に基づいて毅然として振る舞い、必要があれば外部に発信するようにしていくとよい。（患者と医療者の信頼関係に対して社会的に良くない流れが生まれないようにしっかり対応して欲しい。）

## 2) 医療機器安全管理について（資料）

- ・医療機器安全管理責任者からの報告
- ・平成 29 年度医療機器不具合事案報告
- ・平成 29 年度総括及び今年度の課題と問題

### \*外部委員意見

⇒今回の放射線同位元素漏水事例を受けて、床の改修等の工事を予定されているが、RI 療法は増加傾向であり、今後は事故のないよう見直しが必要である。

## 3) 医薬品安全管理について（資料）

- ・医薬品安全管理責任者からの報告
- ・医薬品安全管理上の問題事例とその対策
- ・平成 29 年度総括及び今年度の課題と問題

### \*外部委員意見

⇒特になし

## 4) 感染管理について（資料）

- ・感染制御室長からの報告
- ・平成 29 年度総括及び今年度の課題と問題

### \*外部委員意見

⇒特になし

## 5) 高難度新規医療技術等について（資料）

- ・高難度新規医療技術導入フローチャート
- ・新規医療技術導入小委員会受付状況
- ・未承認薬使用小委員会受付状況
- ・平成 29 年度第 1 回高難度新規医療技術等評価委員会議事要旨
- ・平成 29 年度総括及び今年度の課題と問題

### \*外部委員意見

⇒特になし

## 2. 監査結果

- ・特定機能病院の要件としてガバナンスの強化が求められている。問題となっているところは、病院長、理事長、理事会、医療安全の関係性はどうか、また病院長に人事権、財務権がないかも明らかにしていかなければならない。また、病院長の選考プロセスの明確化を求められている。病院長の資質も医療安全の一定の経験があることが必須となっている。今後、どの病院でも整理が必要な事項である。
- ・厚生労働省が提示している「安全な医療を提供するための10の要点」、真摯に向き合い、対応しているところは、評価したい。様々な病院の模範として、期待されているところも大きいと思うが、今後とも気を引き締めてお願いしたい。
- ・全体的にグラフ等を用い、大変見やすい資料であった。今後は、指標作成を進めていくようお願いしたい。
- ・昨今、検査結果見落とし等でニュースに取り上げられているが、全国の病院の模範となるよう、主張すべきところは主張していく。やるべきところはやっていると評価すべきである。
- ・「医療安全管理に関する指標の構築については、現在、数的比較可能な項目で算出している値の洗い出し作業中である。」とのことであるので、今後何らかの結果を示していただきたい。

## 3. 次回の開催予定

2019年2月頃に開催予定とする。

以 上